

2013わたしたちのガンバリ

NPO法人 共に生きる

江藤 裕子

「共に生きる」では、ひとり一人が自分らしく生きられる社会を目指し平成22年5月発足しました。活動は3本柱です。 1. 肝炎患者・病気の子どもを持つ親御さんに電話相談・ピアカウンセリング 2. 人権研修・講演会 3. 財務管理を中心とした中間支援です。電話相談と人権研修・講演会は、3年かけて定着し方向性も定まりました。

今年は中間支援に力を入れます。地域企業で会計・経理に従事してきました体験を生かし、NPO法人の方々に寄り添い、各団体の財務処理の自立支援を行います。法人格を持つということは、企画・運営・財務処理が信用に繋がります。しかし、多くの団体は財務処理に悪戦苦闘しています。領収書の整理・勘定科目の設定・帳簿記帳と事務処理が整わないのが現状です。

そこで、2か月から3か月に一度、会計業務講座を開き、領収書の整理に仕方・記帳の仕方等に寄り添い、一年をかけて活動計算書・貸借対照表・財産目録を各団体の提出書類完成のお手伝いをさせていただきます。

また、共に生きるでは、この2年間を費やして、NPO法人の新しい会計基準を網羅した会計ソフトを作りしました。

このソフトは、日々の現金の動き・預金の動きを打ち込めば、活動計算書・貸借対照表・財産目録まで出来上がります。事業ごとの帳簿を作るのも可能です。

「共に生きる」で使い、こんなことできたらいいなと自分たちの要求を満たすものになりました。しかし、各団体の事情がわからず数団体モニターの協力でなんとか広報できるまでこぎつけました。このソフトは、いろいろな要求に応え見事に形になり、私たちの喜びと共に自信となりました。

このソフトの利用方法として、一年間だけ法人会員になっていただきソフトの使用方法和経理業務のあれこれの疑問にお答えしながら、寄り添い一緒に向上していきたいと思いません。

各団体の活動は、この大分県・県民にとって必要不可欠です。

そこで、共に生きるでは、会計講座の開催と会計ソフトを活用した支援で、NPO法人の難問である会計処理の困りごと・わからないことにお答えし、各NPO法人の難問である財務処理のお手伝いをして、財務処理に費やすエネルギーの軽減を図り、各団体の活動のスムーズ化に貢献したいと考えます。